

環境施設を保有・運営

シントウキョウグロースキャピタル

事業継承の相談が拡大

新東京グループの子会社シントウキョウグロースキャピタル(東京・中央、山科豊弘社長、03-6228-7744)では、環境関連施設の保有・運営を行う環境FinTech事業について、問い合わせが急激に増えている。同事業は業界初の試みで、注目を集めている。

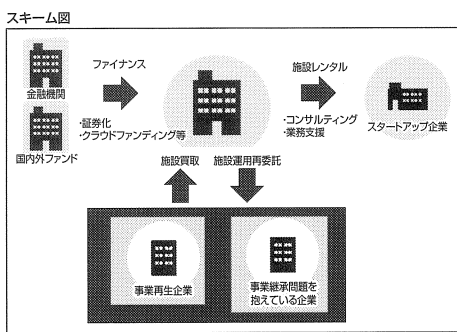
同事業では、事業維持に問題を抱える顧客企業が持つ環境関連施設(焼却施設や破碎施設)プラント全体等)を買い取り、そのままの形で運営するか、後の継承者が不在の場合は、新規で事業を行おうとするスタートアップ企業に施設をレンタルする。

顧客企業にとって、経営・事業運営の主体性を失うことなく、キャッシュフローを軽減できる。施設保有という負担を軽減する一方で、経営の選択の幅を広げることが可能だ。

また、新東京グループが受け皿となる形で、環境事業に未参入が多い。環境FinTech事業を通じてそうした悩みを解決するだけでなく、若い世代が起業する際の初期投資負担を軽減させることも可能だ」と話している。

同グループは、昨年4月からリーディングステップの再生支援を行っているが、これが第一号の事例となっている。山科社長は「環境事業を継承して事業継続に悩む経営者が多く、次世代にどのように企業を託していくのかに、顧客企業の要望に応じて直接のマッチングを行っている」と話している。

また、環境事業に対しては、環境施設を保有・運営する際の初期投資負担を軽減させることも可能だ」と話している。



処理業者とパートナーに 要興業/イーラボネットワーク

排出者向けにセミナーを実施

廃棄物処理事業を展覧する要興業と(社)イーラボ・ネットワーク(柴田良一代表)は、2月6日、排出事業者を対象としたセミナー「排出事業者とイーラボ・ネットワーク」を実施した。当日は、イーラボ・ネットワークの武本かや代表取締役が「廃棄物処理業者の選定基準の設



会場は満席となった

「自社からの排出物の適正処理方法を知る」業者選定基準を設ける「業者任せにせず、情報収集、把握をする」ことを対策として挙げた。

「排出物を知る」から「排出物を知る」の排出物の適正処理方法を知る」業者選定基準を設ける「業者任せにせず、情報収集、把握をする」ことを対策として挙げた。

全産連九州地域協議会 外国人技能実習の対象に 第75回全体会議を開催

(公社)全国産業資源循環連合九州地域協議会(会長 永井良一)は、2月14日、長崎市内のホテルで、第75回全体会議を開催した。九州・沖縄地域の代表の他、全産連から永井良一会長ら約60人が出席。各部署や委員会から報告などが行われた。

冒頭、(公社)全国産業資源循環連合九州地域協議会会長の大野羊逸氏が登壇。「昨年は、積極的な災害廃棄物対策に努めた」とあいさつした。

続いて、全産連会長の永井氏から「昨年の台風19号の発生で、長野県千曲川に広範囲にわたる冠水被害が出た。その災害廃棄物の処理を(社)愛知県産業廃棄物協会が受け、会員企業で行った。ただ、災害廃棄物は一般



活発な意見交換が行われた

中、昨今の人手不足を受け、産廃処理業者も外国人技能実習の対象とすべく取り組みの報告もあった。全産連は、昨年4月から環境省と外国人技能実習機構などで、技能実習内容等について打ち合わせを開始。現在、環境省委託調査事業として収集運搬中間処理(破碎・選別・焼却・中和)埋立の5作業の技能実習計画のモデル例を作成し、2020年度に厚生省の専門家会議の審査を受けるための準備を進めているなどであった。



記者手帳

災害廃棄物も「備えあれば憂いなし」

紙新年号の新春インタビューで山本昌宏環境再生・資源循環局長は、民間の力を活用するためにも自治体が事前にこうした災害時の協定を結んでいる

「先にも述べたように、災害廃棄物の搬入された。また、産業資源循環協会、廃棄物の専門知識を持った方々がたくさん来てくれて助かった」と感謝の言葉を述べた。

「先にも述べたように、災害廃棄物の搬入された。また、産業資源循環協会、廃棄物の専門知識を持った方々がたくさん来てくれて助かった」と感謝の言葉を述べた。

環境省は1月、第2回「地方公共団体における廃棄物・リサイクル分野の気候変動適応策ガイドライン」に関する説明会を開催した。東京と大阪の2会場で開催したもので、気候変動適応策の基本的な概念から同ガイドラインの説明、取り組み事例、災害廃棄物対策などを紹介した。

環境省は1月、第2回「地方公共団体における廃棄物・リサイクル分野の気候変動適応策ガイドライン」に関する説明会を開催した。東京と大阪の2会場で開催したもので、気候変動適応策の基本的な概念から同ガイドラインの説明、取り組み事例、災害廃棄物対策などを紹介した。

大阪会場の様子 1月20日に行われた大阪会場では、はじめに

大阪会場の様子 1月20日に行われた大阪会場では、はじめに